

事務事業名 桜めぐりハイキング実行委員会補助事業

政策:03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策:03 観光の振興

基本事業:02 観光関連団体との連携によるイベントの開催

部名:経済環境部

課名:商工観光課

計画年度	平成21年度 ~ 年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
実行委員会		しだれ桜の開花時期にJR成東駅及び日向駅を起点として、ハイキングを実施。併せてさんぶの森にて商工会・観光協会等が事業を実施し、都市住民との交流、地域振興、観光客の増加を図るため、商工会・観光協会等が一体となった実行委員会への支援をする。				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		毎年度事業計画を提出してもらいその内容を審査し、補助金の交付を決定する。事業終了後、実績報告により補助金を清算する。				
ハイキング実行委員会の実施事業を支援することで、都市住民との交流、地域振興、観光客の増加が図れる。						
4 活動指標・成果指標・事業費の推移						
区分	指標名称	単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	ハイキング参加者数	人	-	500	600	-
活動指標						
成果指標	来遊客数	人	-	1,500	1,700	-
成果指標						
事業費		千円	0	450	450	
		うち一般財源	千円	0	450	450
5 目的妥当性						
法定受託事業である（根拠法令） 妥当である 妥当性が低い		事業はボランティアにより成り立っているため。				
6 上位の基本事業への貢献度						
貢献度大きい（理由） 貢献度ふつう（理由） 貢献度小さい（理由） 基礎的事務事業		来遊客数の増加につながっている。				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討						
対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる 対象や意図の見直しはできない その他		なし				
8 有効性（成果状況）						
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない		参加募集期間が短いにかかわらず、多数の参加者がある。				
9 有効性（成果向上余地）						
成果向上余地・大 成果向上余地・中 成果向上余地・小・無し						
10 事業の再編成						
類似の事業があり、再編成できる 類似の事業はあるが、再編成できない 類似の事業はない		ハイキングやウォーキング事業があるが3月終わりの時期には、ない。				
11 効率性（コスト削減の方法）						
ある ない		受益者負担する。				